

せと市議会だより

Seto City Council

2021
92号

令和2年
12月定例会

瀬戸市の
まもがし

名鉄瀬戸線
新瀬戸駅



尾張横山駅舎(昭和35年頃)
名鉄資料館提供



新瀬戸ビル(昭和46年):名鉄資料館提供

現在の新瀬戸駅



特集 P2~3 オンラインによる議員研修会を実施

昭和30年代の新瀬戸駅周辺の航空写真:瀬戸高校提供

特集 オンラインによる議員研修会を実施

瀬戸市議会では、議員一人に1台のタブレット端末を貸与し、議会活動に活用しています。新しい生活様式では、密を避けることやソーシャルディスタンスの必要性が強く求められていますが、今回初めて、タブレットを使用したオンラインによる議員研修会を開催しました。



議員研修 10月22日

『コロナ禍における地域住民の意見聴取』

講師

みどりのまちづくりセンター所長
浅海義治 氏



1

■ コロナ禍におけるせとまちトーク（意見聴取）の現状と課題

▶ 現状

参加者の減少、固定化、高齢化、が続いている
せとまちトーク中止で今年度（2回）開催できていない

▶ 課題

新しい生活様式に対応した意見交換の手法の検討



初めに「研修の趣旨とこれまでの意見聴取の成果の確認」について、池田信子広聴部会長が発表を行いました。

2

今日お話ししたいこと、話し合いたいこと

パート1： コロナ禍のまちづくりを考える

- ・講義
- ・グループ討議
「瀬戸市のコロナ禍のまちづくり」

パート2： 今後の意見聴取のテーマと実施方法を考える

- ・講義
- 「密を避ける意見聴取手法の選択肢」
- ・グループ討議



次に浅海講師から「コロナ禍のまちづくりを考える」というテーマで講義を受けました。

3

グループ討議の様子 厚生文教委員会



講義を受け、3グループ（各常任委員会）に分かれて「瀬戸市のこれからのまちづくり」についてグループ討議を行いました。

4

グループ討議の様子 都市活力委員会



引き続き、浅海講師から「密を避ける意見聴取手法の選択肢」について講義を受け、その後「意見聴取のテーマ設定と実施方法」についてグループ討議を行いました。

オンライン会議の メリット・デメリットは？

メリット

- 場所を選ばずに会議ができる
- 移動時間と交通費を削減できる
- 会議資料のペーパーレス化ができる

デメリット

- ✕ 通信状況に左右されやすい
→Wi-Fi環境で行うことで、会議の中断は回避できました
- ✕ 大人数の会議には向いていない
→意見交換は9人程度のグループで行いました
- ✕ 表情や雰囲気を読み取りにくい
→講義とグループ討議を組み合わせ、全員が発言することで、テーマについて共有できました

5



グループ討議の内容を各委員長が発表し、研修終了となりました。

研修を終えて・・・

- ◆ウェブ研修が行われ、コロナ禍の影響もありますが、今後の研修や会議の実施にも関係する開催方法でもあったと思います。慣れない環境ではありましたが、会議体の取り組みとしては今後の指針にもなり、会議を進めるコーディネーターにより発言の順番や回数など取りまとめが必要であること、また、率直な意見を聞くことができるなど、今後、回数を重ねていくとその利点もさらに活かされると思いました。他方、この会議方法は急な開催など必要に応じて対応し易い環境でもあると思います。現在、議会では一人一台のタブレット貸与がされておりますので、その利活用としてセキュリティの対処が出来れば大いに活用できると考えます。
- ◆議会としても、コロナ禍における会議や研修の在り方を模索する中で、初めてとなるオンラインによる研修会でした。これまでの会議室等での会議や研修と異なり、タブレットを使っ

お互いのやりとりに若干の違和感はあるものの、かえって参加者の発言等を聞き逃さないように注意するなど、より緊張感を持って臨むことが出来ました。またタブレットなどの必要な条件を整えば、何処でも誰でも会話をすることが可能となり、議会としても今後はテレワークなどを活用した様々な会議や意見聴取、情報伝達などに、さらなる活用の可能性を感じる研修となりました。

- ◆感染症の影響を受けて議員全員が一堂に会することが難しくなっていたことを受け、ウェブ研修が開催されました。初めての試みであったにもかかわらず、事務局の支援もあってスムーズに全員が研修に参加できたと思います。研修中、各委員会ごとにグループに分かれての意見交換でも効率よく発言ができ、まとめることができました。今後も緊急時などの会議に活用できると思います。

◀ 12月定例会の主な議案概要と審査内容 ▶

総務生活委員会

第93号議案 瀬戸市西陵地域交流センターに係る指定管理者の指定について

概要 はぎの台1丁目の西陵地域交流センターの管理や運営について、西陵地域力推進会議に引き続き委託するもの。

Q 指定管理者の選定を非公募とした理由は何か。

A 地域交流センターが、地域住民の交流の活発化や地域力向上を目指した施設であることから、地域住民や地域団体が主体的に管理運営にあたる必要があるために、これまでの実績等を踏まえて西陵地域力推進会議が担うことが最適と考えている。なお第94・95号議案でも同じ主旨の質疑がありました。

第100号議案 指定金融機関の指定について

Q 瀬戸信用金庫を3年間指定するものだが、その理由は何か。

A 指定金融機関として、指定代理・収納代理金融機関を総括していること、公金の責任を担っていること、歳入や歳出の公金を迅速かつ正確に処理していること、また利便性・地域貢献の観点からも申し分ないと考えている。



瀬戸信用金庫本店



市役所内の1階窓口

厚生文教委員会

第104号議案 瀬戸市家庭児童相談室に関する条例の全部改正について

概要 瀬戸市子ども総合計画に定める「子ども・若者総合支援拠点」として、瀬戸市子ども・若者センターを設置するもの。

Q 子ども・若者センターについてももう少し具体的なイメージがほしいが、例えば、30代男性が職を失いメンタルヘルスに関して相談に来た場合では具体的にどのような流れでの案内となるのか。

A 相談者が何に困っておられるのかを丁寧に聞きとり、状況を把握した上で、受診勧奨や、障がい者相談支援センター、仕事・生活自立相談窓口への同行、地域若者サポートステーションの就労相談につなげていく。



現在の家庭児童相談室 (パルティセと3階)

Q 相談に来られない場合や引きこもりの方の対応について伺う。

A 本人からの相談が無理でも家族の方の相談を受けたり、出張相談も含めて対応している。また、引きこもりの方の把握については、学校等関係機関と連携して対応していく。



瀬戸市子ども・若者センター 開設予定の場所 (パルティセと3階)

第106号議案 (仮称)瀬戸市立小中一貫校建設(建築)工事(その1)請負契約の変更について

Q にじの丘学園の駐車場の増設について、保護者及び学校利用者の利用状況を踏まえたということで了解しているが、新たな駐車台数を25台とした根拠について伺う。

A 校内の安全性を考慮し、必要台数として25台を考えたものである。

常任委員会とは

所管ごとに議案等をくわしく審査するために設置された委員会です。本市には、総務生活委員会、厚生文教委員会、都市活力委員会及び予算決算委員会の4つの常任委員会があります。



市議の質問



市の回答

都市活力委員会

第107号議案 市有財産(物品)の売払いについて

概要 せと赤津工業団地造成事業に係る業務委託の成果物一式を瀬戸市開発公社へ売り払うもの。

Q 今回の売払いについて、鑑定評価はどうなっているのか。金額に妥当性はあるのか。

A この成果物は、測量の設計、文化財の調査、など諸々の設計業務に実際にかかった金額がベースとなっており、鑑定評価は行わない。当時土地開発公社が実際に支出した金額であり、妥当性はあると考える。

第108号議案 道の駅瀬戸しなの(地域振興施設に限る。)に係る指定管理者の指定について

概要 道の駅瀬戸しなのの農産物直売所、食堂等の管理・運営を(株)ジェック経営コンサルタントに指定するもの。



指定管理料はどうなっているのか。



地域振興施設に関しては、指定管理料は無く、利用料金制という形式で行ってもらうとともに、納付金方式という形をとり、年間400万円を市に納めていただく。5年間で2,000万円となるが、施設の修繕などに充てていきたい。



道の駅瀬戸しなの農産物直売所

予算決算委員会

令和2年度瀬戸市一般会計補正予算(第13号)

概要 ふるさと納税について

Q ふるさと応援基金に32万円(11件分)を積み立てるものであるが、寄附が増えた理由は何か。

A ふるさと納税による寄附額の増加は、新聞やインターネットを活用した広告を幅広く行い、さらに返礼品を見直し、返礼品割合を3割とし品数も増やしたことなどが増加の要因であると考えている。

概要 私立幼稚園授業料等軽減補助金について

Q 各私立幼稚園の授業料改定は、どの程度の改定であるか伺う。また、担当課として授業料改定の理由をどのように聞いているか伺う。

A 2万円前後の授業料が2万5,000円ほどに改定された。その理由として、入園料が授業料に組み込まれたのと、事務費など他の経費の上昇による値上げ分が組み込まれたと聞いている。

概要 幡中南菱野線について



今回補正となったが、瀬戸市の土地の持つ性質上、こうした埋設物はある程度予測できると思う。初めから当初予算に盛り込むことはできないのか。



設計時に試掘やボーリング調査をしているが、正確な予測は難しいため、あらかじめ盛り込むことが出来ず、やむを得ず補正で対応するものである。

令和2年度瀬戸市一般会計補正予算(第14号)

概要 新型コロナウイルス感染症の対策施策



今回の補正予算の中に市民や事業者への直接支給、あるいは検査体制、医療体制の強化などに対する視点がないように思うがどうか。



直接支給については、国や県とそれぞれの役割分担に基づき、互いに連携しながら対応している。今回の補正はまずはコロナ感染症の感染拡大を抑制することを主眼とし、必ず必要となってくるポストコロナ社会への対応をいち早く行っていくものである。

12月定例会議案等審議結果

市長提出議案

議案番号	件名	採決結果
第93号議案	瀬戸市西陵地域交流センターに係る指定管理者の指定について	可決(賛成多数)
第94号議案	瀬戸市品野台地域交流センターに係る指定管理者の指定について	可決(賛成多数)
第95号議案	瀬戸市水野地域交流センターに係る指定管理者の指定について	可決(賛成多数)
第96号議案	市有財産(土地)の売払いについて	可決(全会一致)
第97号議案	瀬戸市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	可決(全会一致)
第98号議案	特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	可決(全会一致)
第99号議案	瀬戸市職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決(賛成多数)
第100号議案	指定金融機関の指定について	可決(全会一致)
第101号議案	瀬戸市福祉保健センター(瀬戸市老人デイサービスセンターに限る。)に係る指定管理者の指定について	可決(全会一致)
第102号議案	瀬戸市高齢者生きがい活動施設に係る指定管理者の指定について	可決(全会一致)
第103号議案	瀬戸市水野在宅福祉センター(瀬戸市水野地域包括支援センター(運営)を除く。)に係る指定管理者の指定について	可決(全会一致)
第104号議案	瀬戸市家庭児童相談室に関する条例の全部改正について	可決(全会一致)
第105号議案	瀬戸市福祉保健センター(瀬戸市老人デイサービスセンター、瀬戸市保健センター(運営)及び瀬戸市やすらぎ地域包括支援センター(運営)を除く。)に係る指定管理者の指定について	可決(全会一致)
第106号議案	(仮称)瀬戸市立小中一貫校建設(建築)工事(その1)請負契約の変更について	可決(全会一致)
第107号議案	市有財産(物品)の売払いについて	可決(賛成多数)
第108号議案	道の駅瀬戸しなの(地域振興施設に限る。)に係る指定管理者の指定について	可決(全会一致)
第109号議案	道の駅瀬戸しなの(地域振興施設を除く。)に係る指定管理者の指定について	可決(全会一致)
第110号議案	瀬戸市新世紀工芸館に係る指定管理者の指定について	可決(全会一致)
第111号議案	瀬戸染付工芸館に係る指定管理者の指定について	可決(全会一致)
第112号議案	尾張東部(瀬戸)地域文化広場に係る指定管理者の指定について	可決(全会一致)
第113号議案	瀬戸市定光寺野外活動センターに係る指定管理者の指定について	可決(全会一致)
第114号議案	瀬戸市自然児童遊園に係る指定管理者の指定について	可決(全会一致)
第115号議案	瀬戸市都市公園に係る指定管理者の指定について	可決(全会一致)
第116号議案	瀬戸市駐車場条例の一部改正について	可決(全会一致)
第117号議案	駐車場に係る指定管理者の指定について	可決(全会一致)
第118号議案	市道路線の認定について	可決(全会一致)
第119号議案	市道路線の変更について	可決(全会一致)
第120号議案	令和2年度瀬戸市一般会計補正予算(第12号)	可決(賛成多数)
第121号議案	令和2年度瀬戸市一般会計補正予算(第13号)	可決(賛成多数)
第122号議案	令和2年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決(賛成多数)
第123号議案	令和2年度瀬戸市春雨墓苑事業特別会計補正予算(第1号)	可決(賛成多数)
第124号議案	令和2年度瀬戸市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	可決(賛成多数)
第125号議案	令和2年度瀬戸市介護保険事業特別会計補正予算(第5号)	可決(全会一致)
第126号議案	令和2年度瀬戸市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決(賛成多数)
第127号議案	令和2年度瀬戸市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決(全会一致)
第128号議案	令和2年度瀬戸市水道事業会計補正予算(第2号)	可決(賛成多数)

議案番号	件名	採決結果
第129号議案	令和2年度瀬戸市水道事業会計補正予算(第3号)	可決(全会一致)
第130号議案	令和2年度瀬戸市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決(賛成多数)
第131号議案	令和2年度瀬戸市一般会計補正予算(第14号)	可決(賛成多数)
第132号議案	令和2年度瀬戸市介護保険事業特別会計補正予算(第6号)	可決(全会一致)

請願

議案番号	件名	採決結果
請願第2号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願	不採択(賛成少数)

議員提出議案

議案番号	件名	採決結果
第3号議案	防災・減災、国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書	可決(全会一致)
第4号議案	不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書	可決(全会一致)

各議員の議案に対する賛否の状況

左記議案のうち賛否の分かれたもののみ記載

議員名 議案番号	自民新政クラブ											公明党 瀬戸市議団		日本共産党 瀬戸市議団		無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派			
	朝井賢次	高島淳	西本潤	小澤勝	水野良一	宮園伸仁	富田宗一	柴田利勝	戸田由久	山田治義	三木雪実	長江公夫	三宅聡	池田信子	長江秀幸	新井亜由美	浅井寿美	原田学	松原大介	馬嶋みゆき	石神栄治	中川昌也	高桑茂樹	臼井淳	藤井篤保	伊藤賢二
第93号議案	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第94号議案	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第95号議案	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第99号議案	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第107号議案	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
第120号議案	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第121号議案	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○
第122号議案	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第123号議案	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第124号議案	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第126号議案	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第128号議案	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第130号議案	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第131号議案	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第2号	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×

【○】は賛成(同意) 【×】は反対(不同意) 議員名は左より会派ごとの議席順に記載。
 なお、富田宗一議員は議長職のため採決には加わりません。

一 般 質 問

市の行政課題などについて14人の議員が考え方や内容を質問しました。質問を行った順に、一人ずつ紹介します。



公明党
瀬戸市議団
長江 秀幸

「瀬戸市災害廃棄物処理計画」の検証について

Q 一次仮置場の運営については、「本市が主体となって実施する。しかし、仮置場の運営には一定の人員が必要となるため、人員が不足する際には、他自治体や協力企業への応援を要請する。」とある。本市は、県、県内各市町村、民間企業等と相互応援に関する協定を締結しているが、一次仮置場に関して現実はどうのような形の運営になるのか伺う。

A 仮置場の運営が整わない場合は、愛知県を通じて環境省のネットワークを活用した人的・技術的支援を要請し、災害廃棄物の適正処理や安全対策について指導を受けながら、仮置場を運営していく。
(環境課)



無党派
高桑 茂樹

令和2年度せと市民総ぐるみ防災訓練をふまえて

Q 今回の訓練は、南海トラフ地震で瀬戸市が震度6弱に見舞われることを想定した訓練であったが、過去の事例から、大地震の前に大きな前震が起きたり、単独で震度5弱クラスの地震が起きることも考えられる。本市でも、震度5弱で安否確認カードなどを使用するようにすれば、より効果的と考えますが、見解を伺う。

A 安否札等の使用については、震度5弱から活用をすでに行っている連区もあり、本市としても、市民の尊い命を守るため、震度設定を含め各連区とともに、効果的な安否の確認に取り組んでいく。
(危機管理課)



自民新政クラブ
高島 淳

本市の空き家対策について

Q 適正に管理されていない空き家は樹木の繁茂、倒壊の危険、ゴミの不法投棄、野生動物の住処など、地域において大きな不安要因となっている。これらの空き家の状況をどの様に把握し対策を行うのか。

A 本市全体の空き家を正確に把握することは非常に困難であるが、市民や自治会からの通報、職員のパトロールなどで発見し、利活用が可能な空き家については空き家情報バンクへ登録を促し、また、周囲に悪影響を及ぼす恐れのある空き家については所有者に対して適正な管理を促していく。
(都市計画課)



無党派
馬嶋 みゆき

大規模地震災害時における本市の水道事業の対応について

Q 震災発生時には施設の破損や長期停電などから、その後の浄水や配水機能の停止、また管路の破損からは漏水が予想される。断水に備え、応急給水のための水の確保が必要と考えるが、どのような対策を取るのか伺う。

A 水道施設の緊急遮断弁が設置されている配水池や効範連区の平町公園などに設置されている飲料水兼用耐震性貯水槽、また県の送水管上にある応急給水設備などにより水を確保することとしている。その他、災害時の協定による民間からの支援を受け、飲料水や地下水などの水を確保することとしている。
(水道課)

会議の様子は、会議録や録画映像で
ご覧になれます。



Q 市議の質問

A 市の回答



公明党
瀬戸市議団
三宅 聡

破砕機火災の原因となるリチウムイオン電池は分別回収すべき

Q 晴丘センターでの今年度の火災警報発報件数は10月末で既に60件を超えている。リチウムイオン電池が燃えないゴミとして出されていることが主な原因と判明していることから分別回収をすべきと考えるがいかがか。

A 燃えないゴミが予約制の個別収集である利点を活かし、リチウムイオン電池が処分場に入らないように収集員の目視確認の精度を上げるとともに、市民の皆さまにリチウムイオン電池の正しい分別についての啓発を行うなど現在の対応方法の強化を図りたいと考えているので、現段階では同電池を分別回収する考えはない。(環境課)



公明党
瀬戸市議団
池田 信子

学校給食費の公費補助について

Q 保護者負担の給食費について、消費税率変更及び物価上昇の動向に対しての自治体独自の公費補助や、地場産物を豊富に取り入れた地産地消の学校給食を持続的に提供できるための食材への公費補助が近隣市でも始まっている。子育て世代への支援として、保護者負担の給食費を軽減しながら、学校給食の充実に有効な手法であると考えている。今後、総合的な議論が必要ではないか。

A 学校給食費は、保護者の負担と考えている。補助していくためには、予算が必要となる。近隣市町の動向や施策の優先性を鑑みながら、持続可能な運営を図っていく。(学校教育課)



日本共産党
瀬戸市議団
原田 学

10億円の介護保険の基金は保険料の引き下げに使うべき

Q 介護保険の基金は現在10億円も貯め込まれており、次の第8期計画では被保険者、一人あたり約2万6,000円の保険料の引き下げに使うべきではないか。発足当初とくらべ、現在の保険料は約2倍であり、高すぎる。抜本的に保険料の引き下げを行うべきと考えるがどうか。

A 介護保険の基金は介護保険事業の健全かつ、円滑な運営をはかるためのものである。その目的は保険制度を将来にわたり、持続性のある制度として維持していくためであり、基金の取崩しについては第8期計画の策定で慎重に検討します。(高齢者福祉課)



無党派
石神 栄治

電池再資源化について、本市の廃棄方法と適正負担を伺う

Q 電池の回収量は平成29年度から増加傾向にあり、処分方法は、北海道の中間処理施設で焼却後に埋立処分をされているが、水銀含有電池以外は、より効率の良い電気炉で熔融処理、資源として有効活用され、再資源化により電池処理の経費が下がるが、今後のごみ排出の適正負担つまり有料化について伺う。

A 回収された乾電池は、中間処理施設にて分解し原料等に、最大限再資源化がされている。今後のごみ処理費用の適正負担については、ごみの排出抑制や再生利用の推進、排出量に応じた負担の公平化を図るために推進すべき施策の一つと考える。(環境課)



無会派
中川 昌也

コロナ禍での食料品アクセス問題について

Q 瀬戸市内で移動販売が行われている状況について、どのように把握されているのか？
また、瀬戸市が移動販売業者に必要な経費を支援することで、参入しやすくなると思うが、市の見解を伺う。

A 移動販売については、生活協同組合が実施している他、市内大型小売店や尾張東地方卸売市場が実施を検討していると伺っている。また、商店街等の商業団体が移動販売や宅配事業に取り組む場合の初期費用の一部を、商業団体等事業費補助金により支援するなど、移動販売や宅配事業に参入しやすい環境を整えていく。(ものづくり商業振興課)



自民新政クラブ
朝井 賢次

本市における農福連携事業について

Q 農福連携を展開していくには、事業のメリットを示し、様々な取り組みをわかりやすく情報発信する等、関係者が農福連携事業への理解を深めていく必要があり、啓発活動や相談体制構築の取り組みを官民一体となって進めていくべきと考えるがいかがか。

A 農業者や障がい福祉サービス等事業所に農福連携事業に対する理解を深めてもらうため、国の方針や市内の農福連携事業に関する情報を収集し、啓発活動を行っていく。また具体的な相談を受けた際に事業を開始する時の課題や支援制度を関係する民間事業者と共有し、官民が連携して対応していく。(産業政策課)



無会派
白井 淳

瀬戸市が鉱山採掘跡地を取得する問題について

Q 鉱山採掘用地をなぜ取得しなければならず、その理由と目的は何か。また、当該用地を取得するための費用は、誰が支払い、用地費の見込み額及び取得するための財源はどのように捻出するのか。

A 当該用地は市街地や公園、工業団地に隣接し、第6次総合計画において活用を検討する地域とされており、鉱山業務完了後は瀬戸市に無償譲渡することを予定している。取得に要する費用は、瀬戸市から開発公社へ支出する予定とし、財源については、産業資源採掘跡地等開発整備基金の活用を前提とし、不足する場合は一般財源を用いることになる。(産業政策課)



日本共産党
瀬戸市議団
新井 亜由美

市内事業者の現状を把握し実態に即したコロナ支援の強化と継続を

Q 瀬戸市は民間調査会社のアンケートデータから「全国では新型コロナ感染症の拡大に左右されない経済の適応力が発揮されだした」「本市独自の新たな経済対策を緊急事態と同様に実施する必要性は高くない」と分析したが、その分析は市内事業者の実態に即しているのか。事業者がどのような支援を求めているのか実態を掴むために、瀬戸市は聞き取りに出向くべきではないか。

A 民間調査会社のアンケートは地域や業種を限定したものではなく経済全体を把握するため。支援などの要望があれば、市役所の窓口に来て我々(瀬戸市)に聞かせてほしい。(産業政策課)



日本共産党
瀬戸市議団
浅井 寿美

重症化リスクの高い高齢者や施設職員に対し定期的なPCR検査を

Q 新型コロナの感染を避けるため、高齢者や施設等の職員は、仕事でも日常生活でも大きな制約を受けている。一人でも感染がおこった施設では、濃厚接触者でなくても希望する高齢者に対し、国の助成制度を使ってPCR検査を実施すべきではないか。また、感染の起こっていない施設においても感染拡大防止のために、希望する職員等に対し定期的なPCR検査を公費でおこなうべきではないか。

A PCR検査は、地域の感染状況や、施設の実情を踏まえて保健所が対象者の範囲を判断し実施するものと認識している。市独自の検査は考えていない。 (健康課)



無会派
松原 大介

テレワークの視点を加えた定住促進とそのPRについて

Q 市民の多様なワークライフバランスに対応することは必要で、本市のものづくり文化、創業支援体制、若手ツクリテとのコミュニティ形成、住民参画の土壌づくりなどの、本市の文化・特色・課題との相性を考慮すると、コワーキングスペースのような比較的オープン性の高い空間を充実させることは、有益ではないか。また、定住促進の呼び水としてテレワークにスポットを当てた補助制度を設けてはどうか。

A 今後の社会状況の変化や市民ニーズの動向を注視しながら研究していく。本市の姿勢を示す材料のひとつになり得ると考える。 (政策推進課)

常任委員会の活動報告

厚生文教委員会 「令和2年11月 にじの丘学園を視察」

昨年4月に開校した小中一貫校にじの丘学園へ、児童、生徒の教育環境の現状及び施設使用状況を厚生文教委員9名で視察した。視察後に校長先生を始め、先生方と質疑及び意見交換を行い、バス通学を含む通学路で各連区の見守りボランティアを始めとした関係者の方々による安全安心対策が取られていること、乗り入れ授業の積極的な活用が教員の相互理解やスキルアップに繋がっていること、タブレットを活用したICT教育の推進など、精力的な学校運営の様子が伺えた。大変恵まれた教育環境のもと、他市に誇れる小中一貫校が開校できたことは、今後の人づくりの大きな礎になっていくと思われる。委員会として今後さらに、瀬戸市教育アクションプランを基にした、小中一貫教育への研究、検証が必要であると感じた。



総務生活委員会・都市活力委員会の活動報告は次号でお伝えします!

表紙写真について

第90号の議会だより表紙から名鉄瀬戸線の古い駅舎の写真を提供して下さった、可児市にある名鉄資料館が、令和2年12月25日をもって閉館となりました。貴重な写真をご提供いただき、ありがとうございました。

また、今回は愛知県立瀬戸高等学校にも足を運び、昭和30年代の貴重な航空写真をご提供いただきました。瀬戸高校が、昭和38年までは現在の愛知環状鉄道瀬戸市駅付近にあり、西側には日東工業株式会社の日本社及び工場があったことがわかります。右の写真は瀬戸信用金庫本店から撮影させていただきました。

次回の尾張瀬戸駅で駅舎シリーズは最後となります。お楽しみに！



新瀬戸駅周辺

3月定例会開催予定

- 2月18日(木) 本会議(開会・予算大綱説明)
- 3月 3日(水) 本会議(議案上程・説明)
- 3月 8日(月) 本会議(代表質問)
- 3月 9日(火) 本会議(代表質問・一般質問)
- 3月10日(水) 本会議(一般質問)
- 3月11日(木) 本会議(一般質問・議案質疑・委員会付託)
終了後 予算決算委員会
- 3月15日(月) 総務生活委員会 終了後
予算決算委員会 総務生活分科会
- 3月16日(火) 厚生文教委員会 終了後
予算決算委員会 厚生文教分科会
- 3月17日(水) 都市活力委員会 終了後
予算決算委員会 都市活力分科会
- 3月19日(金) 予算決算委員会
終了後 議会運営委員会
- 3月23日(火) 議会運営委員会
- 3月24日(水) 本会議(委員長報告・討論・議案採決・閉会)

※いずれも、午前10時から(3月3日と19日は午後1時から)の開催予定ですが、日程が変更される場合がありますのでご確認ください。

※会議の様子は、瀬戸市議会のホームページからインターネット中継でご覧いただくことができます。

※請願・陳情の提出締切日は、2月9日(火)の午後5時です。



編集 後記

令和2年を振り返ると、新型コロナウイルス感染症の流行により、市民生活や地域経済は大きな影響を受け、議会においても定例会ごとにコロナ対策の補正予算を審議し、コロナに始まりコロナで終わった感があります。一方でにじの丘学園の開校をはじめ、大型の企業誘致やシティホテルの進出等、本市の未来を考えるうえで明るい話題もありました。今後も、市民の皆様のご健勝を願うとともに、一刻も早いコロナ禍の終息を願うものであります。

議会だより編集作業部会一同

瀬戸市議会の情報番組のお知らせ

瀬戸市議会では、以下の番組において議会情報をお知らせしております。



グリーンシティケーブルテレビ

「こんにちは!瀬戸市議会です。」(地上デジタル121ch)

3月定例会放送予定

4月12日(月)から4月18日(日)まで

放送時間

(7:25~、9:25~、12:15~、18:25~、20:25~、22:25~
土・日のみ7:25→14:25となります。)

※詳しくはグリーンシティケーブルテレビから配布される番組表をご覧ください。



RADIO SANQ

「せとまちラジオ」(FM 84.5MHz)

3月定例会放送予定

2月16日(火) 3月30日(火)

放送時間 (9:20~、12:30~、18:00~)



議会だよりに関するご意見などについては、下記の問い合わせ先までお寄せください。

問い合わせ先 議会事務局 議事課 ☎88・2740 E-mail giji@city.seto.lg.jp